

会 議 録

会議の名称	令和7年度第4回上尾市社会教育委員会議	
開催日時	令和8年2月13日(金)午後2時から3時29分まで	
開催場所	上尾公民館 講座室501	
議長氏名	首藤 敏元	
出席者(委員)氏名	近藤 博昭、林 孝安、曾我部 延孝、須賀 聡、清水 和子、清水 松代、鈴木 茂、首藤 敏元、若原 幸範(9人)	
欠席者(委員)氏名	中島 晴美、山下 文孝、酒井 剛志、長谷川 義水	
事務局(庶務担当)	加藤教育総務部長、池田教育総務部次長、白石生涯学習課長、山内図書館長、小宮山副主幹、長島副主幹、目黒主任	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	議事 (1) 令和7年度社会教育関係事業の実施状況について (2) 令和8年度社会教育関係事業(予定)について (3) 第6次生涯学習振興基本計画について	1 議長 首藤 敏元 副議長 近藤 博昭 2 議事 内容説明及び質疑応答
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 なし
会議資料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 令和 8 年 3 月 16 日 </div> <div style="text-align: center;"> 議長の署名 <u>首藤 敏元</u> </div> </div>		

議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
生涯学習課長	<p>1 開会</p> <p>ただいまから、令和7年度第4回上尾市社会教育委員会議を開式いたします。なお、本日は、中島委員、山下委員、酒井委員が欠席となっております。また、長谷川委員が遅れていらっしゃいますが、定刻となりましたので進めさせていただきます。</p>
首藤議長	<p>2 首藤議長挨拶</p> <p style="padding-left: 2em;">＜首藤議長挨拶＞</p>
首藤議長	<p>3 議事</p> <p>「上尾市社会教育委員会議運営規則」第3条の規定から委員の半数以上の出席が必要となります。委員総数13名のうち9名の方が出席していますので、この会議が成立することを御報告いたします。</p> <p style="padding-left: 2em;">本日、傍聴の方はいますか。</p>
生涯学習課主任	<p style="padding-left: 2em;">傍聴希望者はいません。</p>
首藤議長	<p>(1) 令和7年度社会教育関係事業の実施状況について</p> <p>それでは議事に沿って進めさせていただきます。</p> <p>「(1) 令和7年度社会教育関係事業の実施状況について」、事務局の説明をお願いします。</p>
生涯学習課副主幹・図書館長	<p style="padding-left: 2em;">＜令和7年度社会教育関係事業の実施状況について説明＞</p>
首藤議長	<p style="padding-left: 2em;">説明がおわりました。委員の皆様、御意見御質問等ございますか。</p>
曾我部委員	<p>上尾市人権教育推進協議会を代表して来ているのですが、今からでも間に合うか、これを出す前に当会から一つ加えていただきたい事業の実施があるんですけども。実はですね、今月2月3日に第3回会議を開きまして、そのときに、12月7日のあげおヒューマンライツミーティングの報告書が作成されました。ここに意見も全部入っているんですが、ホームページの1月7日にも出ていますので見ていただきたいんですが、それについてちょっと説明させていただいてですね、この事業を実施したことをここにに入れていただきたいです。</p> <p>7ページに上尾人権教育推進協議会があるかと思えます。毎年度3回行っているのですが、その中で出た委員さんの意見等も取り入れまして、そして実施している中にこのヒューマンライツに結びついていくのですが、それと12・13ページを見て頂きたいのですが、産学官民をつなぐということで様々なこの連携のことが出てくるかと思うんですよ。12ページには市政出前講座に</p>

人権男女共同参画課と生涯学習課があると思うんですけど、その中でもなかなかないんですけど、13 ページを見ていただいたら、学校・家庭・地域との連携のところがあるかと思います。そこで公民館講座の事業報告がなされてるんですが、あげおヒューマンライツミーティングも該当するのかなと思うのです。次の基本計画なんですけれども、市内の全小・中学校の児童生徒約12,000 人が人権標語で参加している。そして学校教育部指導課から、そして生涯学習課がずっと何十年でもやっているわけですが、これが元で、この12月7日のヒューマンライツミーティング、担当課は人権男女共同参画課ですが、その中に人権作文、人権標語、三行詩の表彰式があります。それから、地域クラブの合唱団の合唱をこの舞台に取り入れたりして、その写真はホームページにも出ています。多くの職員も参加されています。この実施した窓口なんですけれども、上尾市、上尾市教育委員会、上尾市人権教育推進協議会、上尾市人権擁護委員会、埼玉人権啓発活動地域ネットワーク協議会。発行が市民生活部人権男女共同参画課なんですけど、そうしますと、これは上尾市全体で各部・課と連携した一つの大きな事業かと思うんですよ。コロナの時は中止になったんですけど、この二・三年、非常に充実してきてまして、かなり良いものができていて、職員の方も生き生きしてるし、多くの市民の方、子どもも含めて参画している。ぜひ、この事業の報告を取り入れていただけるとありがたいと、特に生涯学習課がずっと窓口で相当尽力されているものですので、入れていただくといいかなと思います。今まではこの会議も年に2回しかなかったから残念ながらあまり気にしなかったんですけど、去年、今回と、かなり担当課に勢いがあるって、生き生きとしてホームページにも掲載されている、これが生涯学習の中から消えない方がいいのではないかなというのが私の切実なる願いでございます。

首藤議長

当初は第5次基本計画の中に入れてなかったのが、今回の報告には入っていないという事かと思いますが、これは後からでも入れられるのかとも思いますが、いかがでしょうか。

生涯学習課長

確かにお話のように人権教育の部分、推進という意味で、人権標語・作文を学校教育の方と連携しながら子どもたちの作品を作るというところで、人権意識の啓発を図るというような活動になっておりますので、事業として位置づけるならば、ここの部分に入ってくるものかなというふうに思います。今回はすみません。そういった視点では入れていなかったのが、今回の報告の中には入っていないのですが、どういう作品があったかとか、優秀作品がこういうものだったのか、そういったところは確かにこちらの事業報告に載せていってもよろしいのかなとは考えております。

曾我部委員

ぜひそれをお願いしたかったのは、今回の計画で入るウェルビーイングの一つのスタイルの形だと思うんですよ。多くの方が参加して生き生きとしてやるということは、多くの方が参加しているのだから、ホームページを見ていただきたいんですけど、ぜひ生かしてもらえればありがたいなと思います。

首藤議長

入れるとしたらどこになりますかね。

曾我部委員

思ったのは、家庭・学校・地域との連携なのか、それとも14ページの3-3 上尾の未来へつなぐ、教育は小中学校から大人へ繋がってますから、そこ

<p>首藤議長</p>	<p>がいいのかわからないですけど、これだけの大きなイベントで、1日コミュニティセンターで実施して、約600人参加してるのでこの辺かなと思うんですけど、これは生涯学習課の方で構成していただいていた方がいいと思います。</p> <p>全部入れて、後で再掲として繋げてもいいかなと思います。人権教育推進協議会の中に入れて、更に庁内の連携で、人権男女共同参画のところに追加してもいいですし、あと、学校・家庭・地域との連携にも入れていいし。3-3上尾の未来へつなぐのところは、項目を一つ立てる必要が出てきますね、事業として。事業名一つ追加するだけでもいいのかなと思います。これは入れた方が良く思うんですけども、この委員会自体、公民館の代表の方、人権教育代表の方、あと、文化団体、スポーツ団体、図書館、PTA、いろいろな団体をまとめるような形で委員会があって、それぞれの委員会でどんな活動をしているのかを全部入れると、大変なことになるかなと思いますけれども、それがこの社会教育委員会の悩ましいところです。</p> <p>図書館についてはかなり具体的に紹介ありますが、他は公民館も若干ありますけれども、具体的にどんな活動が展開されているのかがなかなか見えないまま、全体計画で進行してきてますので、</p> <p>ですから先ほどのヒューマンライツミーティング、この活動は良い活動だと思います。今後も続きますか。</p>
<p>曾我部委員</p>	<p>今後も続きます。ずっとやってたんですけど、今年度は子供たちの合唱が加わって、また違ったイメージがあるので、さらに発展して。聖学院大学の学生も来ないかな。こういう集いに多くの若者たちが参加してほしいかなと思います。</p>
<p>若原委員</p>	<p>お声がけいただけたらありがたいです。</p>
<p>首藤議長</p>	<p>社会教育委員会としては人権っていう形で、人権教育の活動として。事務局どうですか。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>今のお話からすると、報告書の中で「施策の柱1-2人と地域の絆をつくる」の「人権教育の推進」で、人と地域というところでも、この施策の中のどこに入れようかと、いろんなところに関わってきてるので、今、委員長がおっしゃったように、この人権っていう立場のところからヒューマンライツミーティングというのはそもそもあるとすれば、この「人権教育の推進」の下あたりに、事業としてヒューマンライツミーティングというものを位置づけて、仮にですが、全部にヒューマンライツミーティング、ヒューマンライツミーティングと入れるのはちょっと見栄えとしてもありますので、そこは、ヒューマンライツミーティングを入れたところに、こういった関連もあるというような書き方で、この方策のところにも関連するとかということのをちょっと追記するとかということではいかがでしょうか。事業そのものは人権教育推進の下あたりに、入ってもいいのかなと。そして曾我部先生がおっしゃってる資料を抜粋したものをこの後付けるとか、それかホームページの方を御覧になってという事でもできるのかなと思います。</p>
<p>首藤議長</p>	<p>「施策の柱1-2人と地域の絆をつくる」の、「人権教育の推進」、ここに入れるというのでいかがでしょうか。もちろん全ての活動は絆を作る、広げ</p>

首藤議長	るとか全てが関わってきますが。よろしいでしょうか。 他に御質問御意見、ございますでしょうか。
各委員	ありません。
首藤議長	では、一つ追加の御意見がございましたが、それは人権教育の推進のところに入れるということになりました。それ以外、議案「(1) 令和7年度社会教育関係事業の実施状況について」につきましても、当会議として概ね妥当との意見とさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。 ありがとうございます。
首藤議長	(2) 令和8年度社会教育関係事業(予定)について では続いて、「(2) 令和8年度社会教育関係事業(予定)について」ですが、基本的に基本計画があって本来活動があるものなんですけれども、活動はそれぞれ、先ほど私から発言をさせていただきましたけれども、別の委員会があって、そこで活動の予定が組まれているので、まず、来年度の活動、毎年行っている活動を検討していただいて、その後で枠組みの中に位置づけていくという、ちょっと順番が逆になりますけれども、そういう考え方でいきたいと思えます。では事務局から説明をお願いします。
生涯学習課 副主幹・ 図書館館長	<令和8年度社会教育関係事業(予定)について説明>
首藤議長	ただいま事務局から説明がありました。委員の皆様、御意見御質問等ございますか。
清水(マ)委員	第6次生涯学習振興基本計画のところで、ウェルビーイングという言葉が大きくなってます。で、これは令和8年度の事業になると思うのですが、ウェルビーイングを目標と定めているのであれば、どこにウェルビーイングを高める仕組みを盛り込んでおられるのか。従前の事業とどう違ってくるのかなというのをどのように考えてらっしゃるのかということをお聴きしたいと思えます。
首藤議長	先ほど事務局から説明ありましたように、具体的な活動内容をウェルビーイングに繋がる取り組みにしたいということですね。参加者への事後アンケートを実施して、更にウェルビーイングが高まるような事業に令和9年度以降にしていきたいという話がありました。それ以外に何かお考えの事がありましたら、事務局から説明をお願いします。
生涯学習課副 主幹	例えばこれまで、いろいろな事業を開催した時に、実際の事業報告をするときには、何人来たとか、どのくらい日数をやったとか、そういったところが、極端に言えばそのイベントが失敗したか成功したか、そういう判断をする部分があったと思うんです。こここのところを、もう来年から変えるという

	<p>ことではないのですが、いろいろな事業の評価に当たりましては、積極的にアンケート、実際に来た人の意見の中で満足度というのを取らせていただく、そしてそれを、満足したとか、そういったものを一つの評価基準にしていく部分がございますので、そういったところを各事業によって、事業自体は正直代わり映えしないかもしれないんですけども、そういった後の捉え方を少し工夫していきたいというふうには考えております。</p>
清水 (マ) 委員	<p>そうすると、事業の方は、これまで通りの部分があったとしても、例えば市民の方々にウェルビーイングってどんなものかしらって、そういうことを知ってもらい、そういうものを実感してもらいような仕組みを、例えばアンケートとかそういうところで作っていかれるという、そういうふうに解釈してよろしいでしょうか。</p> <p>もう一つ、2024年6月に民間企業が行ったアンケート結果があって、ウェルビーイングの認知度は、その時点では31.3%、3割ぐらい。でも、2023年に比べると10ポイントアップしている。だから、だんだん浸透はしてきているんでしょうけれども、ここでせっかくウェルビーイングという言葉を使うのであれば、上尾はしっかり、皆さんの中に浸透してくれるといいかなと思いました。以上です。</p>
生涯学習課長	<p>今、御提案いただきましたように、例えばアンケートの中で、説明とあわせてですとか、あとは生涯学習振興基本計画が出来上がった時点で、ウェルビーイングの概要版のようなものを出して、知っていただくような形にしてみ、各事業を展開していくというのも必要かなと考えております。</p> <p>それ以上の具体的なことはこれからになりますが、今回の計画の目的にしたもの、それをわかっていただいた上でも、重要になるように考えていきたいと思えます。</p>
首藤議長	<p>今までの、例えば公民館の活動にしても、個人が学ぶ、趣味を極めるとか、そういったものが目的、それもウェルビーイングの一部だという風には思います。更にウェルビーイングと言うからには、人と繋がるということが大事かなと思います。その繋がるっていうところを活かせるような活動を、公民館だけじゃなくて、まず運営の仕方とか、活動の仕方とか、そういうのを考えてもらえればいいのか。それで、実際の第6次計画が本格化するのが9年度以降だと思うんですね。8年度は今までやってきたものをとりあえず続けなきゃいけないので、そこで試行錯誤しながらそこからまた良いものにしていくという流れになるのかなと私は考えているところです。</p> <p>まずウェルビーイングという、まずその前に「夢を育み未来を創る生涯学習」という観点から、その活動を見直して各活動を運営してもらえればいいのかと考えております。</p> <p>美術展覧会とか市民音楽祭とかは、特に自己表現を人に伝える部分ですから、かなりウェルビーイングに関係してくるかなと思います。</p> <p>会議でもそういうことを意識するということ、それぞれの会の実行委員会の方にお伝えいただければいいかなと考えているところです。</p> <p>図書館の方は何か関連することはありますか。</p>
図書館館長	<p>図書館は来年度から第4次上尾市図書館サービス計画がスタートしますので、その心身の健康や社会の繋がりを重視するウェルビーイングというもの</p>

	<p>につきましては、当然、居場所としての図書館のハード的な整備というのは進めていって、サードプレイスとしての役割を増やしていく、強化していくということと、もう一つは、最近若年層の不読率ですとか、そういった知的な好奇心がなんとなく横に置いておかれているという部分がありますので、そういう部分を評価し、そして地域住民一人一人の皆様に、読書の魅力を再発見する場として提供することで、心身の健康、社会というものの繋がりを作っていくような、場作りを評価していくというのが、一つの計画の方針の中にありますので、この辺りをしっかりしていけばいいかなと思っております。</p>
<p>首藤議長</p>	<p>ありがとうございました。他に質問ありますか。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>放課後子ども教室について、議会を通してからでないと言えないということもあるけど、いわゆる本当の小学校でやっている、一般的というかな。普通の小学校の放課後子ども教室をやるようとしているんですか。言える範囲内でいいんだけど。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>普通というものがちょっと難しいところなのですが、いろいろなタイプのやり方があるようなのですけれども、現状は毎日やるというものではないです。それは、ちょっと現状難しいです。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>単発で学校でやるということですか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>単発でというわけではないのですが、例えば学童との校内連携型のような形でのものではなくて、現在、公民館でやっている形のようなものを、拠点を増やすという意味です。それを小学校内で実施できれば良いと考えております。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>今までずっと、スタートしたときも、今現在も、大石公民館と原市公民館、学校に近い公民館があるところで初めていて、それが全然横に広がっていかないというか、その一部の原市小学校、大石小学校の子どもたちだけしか放課後子供教室を利用する機会がない。</p> <p>こちら事務局としても、議会からも公平性がないんじゃないかという話もある中で、ただ我々もいろいろ考えてきたのですが、学校施設を使うと言っても、今はなかなか空いている部屋がないとか、あと人的にも、見る人手がないという問題があってもなかなか広がらない。</p> <p>ただ、いつまでもそういうことを言ってもしょうがないので、またいきなり全校ということは難しいので、一部の学校から、できる場所があるところから、少しずつ広がっていくというのが、今のやり方です。今、大石公民館や原市公民館でやっているような内容のものを、学校の施設を使って部屋が空いてるところがあれば、そこを利用させてもらって、コーディネーターの人たちは既に大石、原市公民館でやっているような方々に行っていたら、内容としては同じようなことをやっていこうと思います。</p> <p>ですから、鴻巣とか、他の自治体でやっているような、そこまでのレベルのものではないです。</p>

首藤議長	若原委員、何かありますか。
若原委員	<p>話がまた戻るのですが、ウェルビーイングの話ですが、先ほどお伝えいただいたように、アンケート等に反映させていくというお話だと思うんですけども、一方でウェルビーイングの個人の良好な状態だけではなく、社会的に良好な状態ということで、新しい計画でも 18 ページあたりに定義がありますけれども、地域なり社会自体が良い状態になっていくことが大事だというふうに考えるとすると、新しい計画書の 25 ページの講座の中に新しく課題別講座が組み込まれてますけれども、そういった公民館講座等で地域の課題や社会の課題を直接扱うような講座や学習機会を増やすことが大事だと思うんですね。</p> <p>そうしてみると、先ほどの今年度の事業について見てみても、個人の趣味・教養ですとか、健康とか、あとは個人の生活技術は充実してるのでいいんですけども、社会的な課題等を考えるような講座等は少ないと思いますので、そこを拡充していくということを今後、新しい計画のもとで考えていただければというふうに思います。</p>
首藤議長	<p>公民館事業の中身は、もう既に決まっているものもあるでしょうけれども、これから作っていくものもあると思います。第 6 次基本計画の観点からまた講座内容を検討していただければよいのかなと思います。</p> <p>清水委員さんの文化団体は、小学生に聴いてもらう機会というのはあるのでしょうか。</p>
清水 (カ) 委員	<p>あります。最近はあまり無いんですけど、県の方に入っているときに、遠くのほうへ行って子どもたちのふれあい事業というものを結構やっています。学校で、一校でやってくれるので、一クラスぐらいの人数、10 人ぐらいにして。秩父の奥の方とか、三郷とか、行くのは大変ですけども、子どもたちがよく言うことを聞いてくれて、お子さんというのはすぐ覚えるので、こちらも楽しくやらせていただいています。</p>
首藤議長	<p>放課後子ども教室の話ですけど、できれば地域の中で大人たちが関わって、放課後の生活、その一部を子どもとともに過ごす。かしこまって大人が子どもに何かを教えなきゃいけないということではなく、大人と子どもがともに活動する、それがいいのかなと思っていますので、できれば地域の中でそういう、例えばお箏を弾ける方がいれば、その地域の放課後子ども教室に行ってお手伝いできるのかなというふうに思った次第です。</p> <p>ありがとうございました。では来年度の予定、具体的な中身はこれから決めるものも多いですけども、大元としては修正の動きはなかったと認識しております。皆さんもそのような理解でよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
首藤議長	<p>では「(2) 令和 8 年度社会教育関係事業 (予定) について」につきましては、当会議としては概ね妥当との意見とさせていただきたいと思います。事務局におかれましては今回出ました意見を参考に令和 8 年度社会教育関連事業につきまして進めさせていただきたいと思います。</p>

首藤議長	<p>(3) 第6次生涯学習振興基本計画について では続いて、「(3) 第6次生涯学習振興基本計画について」、事務局から説明をお願いします。</p>
生涯学習課副主幹	<p><第6次生涯学習振興基本計画について説明></p>
首藤議長	<p>コメントはこのお一人ということですね。全部で8種類のコメントを書いておられる。文化財関係の方かなと思いますけれども。文化財関係が軽視されている、こういうところが落ちている、というかなり強い御指摘があったと思います。 条例で決まったような委員会が抜けていたところがあるので、そこは入れておく必要があるかと思います。 事務局の回答案も出ておりますが、このコメントと回答案について御意見御質問等ありましたら、お願いします。</p>
首藤議長	<p>第6次上尾市生涯学習振興基本計画(案)、これは前回までに皆さんに御意見をいただいてまとめたものですので、これにこのコメントを踏まえて、基本計画案を追記修正する部分というのは、まず2ページの図に「上尾市スポーツ推進計画」と「上尾市図書館サービス計画」を入れる。次に30ページ。これは条例で決まっていることですので、文化財保護審議会と上尾市の摘田・畑作用具保存活用検討委員会の二つを追記するということになります。そして32ページは回答案のように若干文章を修正するということの提案です。 上尾市パブリックミュージアムという言葉がコメントの中に出てきます。これは仮称ですけど、こういったものを作るということは、以前の社会教育委員会議会で決まっているのか、それとも文化財の審議会で言っていることなのですか。</p>
生涯学習課長	<p>具体的にこういったものの予定は、現在上がっていません。</p>
首藤議長	<p>文化財保護審議会でも出ていないのですね。</p>
生涯学習課長	<p>現在、国の指定を受けている民俗文化財ですが、こちらの保存が、学校の空いている教室に収めているという状態が長く続いていることに対して、このままで良いのかという、文化財保護審議会の方からいろいろ御意見を頂戴しているところではあります。ただ具体的に、何年後にどこに、というお話はできる状態ではないので、その旨もお伝えはしています。</p>
首藤議長	<p>要は国指定を受けてるわけですから、ちゃんとした保存の義務が生じるとは思います。</p>
教育総務部長	<p>課長が話したように、文化財保護審議会の方では、国指定を受けてるものとか、空き教室を使って置いている状況がどうかということも、常々言われております。やはりそういう博物館的なものも整備すべきではないかという、これに関しては、ただ、この国指定を受ける前から、市の文化財に関してちゃんとすべきだという話は出ていたようですが、ただ、今、委員長が</p>

おっしゃったように、箱物を作ることに対しては、やはり大きな財政的な問題もありますし、場所の問題もありますので、そこをいかにしっかりと補完していくかということを経済文化財保護審議会の中で、文化財の保存活用計画というものを作っていきましょうというお話をしているところなんですね。

その計画がまだ作られていないところの中で、そういった計画を予定としてでも書くべきじゃないかという御意見があったりはしています。この点に関しては、こちらの社会教育というところでも、確かに文化財の保存活用というものがありますけれども、それとは別に、先ほど申し上げた常時設置してある文化財保護審議会や活用委員会というものがありますので、そのそもそもの活用と保存については、そちらで議論させていただいております。

その文化財保護審議会の方から、市の方に、要望としてそういった博物館とかを設置してほしいとか、設置すべきじゃないかということを経済文化財保護審議会に要望してもいいのではないかと議論はされてます。

ただ、実際にまだ市長宛てにそういったものが出たとか、出すとかといったところまで決まったものにはなっていない、という状況です。

鈴木委員

私もずっと博物館が必要だという意見をよく聞くんだけど、この博物館の建設とかそういうことって、どこが考えていくの？この課とかでなくて、どこが担当していくの？部でも課でもいいんだけど、そこが意見を作っていくと先に行かない。どこなんですか。

教育総務部長

実際にどこが所管するかという話だけでいけば、それは今の文化財とかを所管してるところが、生涯学習課です。文化財保護審議会をやっているのはここですから。

鈴木委員

だから、そこがやはりそういう意見を聞きながら、博物館とかがやっぱり上尾に必要だという意見を聴いて、そこに設計図を作らないと先進まないよね。

教育総務部長

ただそこは、担当課が作りたいからといって簡単に作れるものではないですし、今ある上尾市の中の財産というか、使えるものをいかにどう使っていくか。今、上尾市では、図書館本館の更新をする、学校施設の更新もしなくてはいけないとか、全然話が変わってしまいますけれども、上尾と伊奈で共同のごみ処理施設を作らなくてはいけないところの中で、そういった建物に関しては、将来的に費用のかかる場所もあります。

そういった中で、いきなりポンと博物館を作るのがいいのか、そうではなく、学校の空いてるところを使って、そこを環境を整えて保存してます、ですがそこだけでは足りない、では空いている市の施設があれば、そこを改修して、保存していくという方法もありますよね。中期的、長期的にその文化財の保存についての計画を作っていきましょうということを今、その文化財保護審議会の方で議論をしていると。簡単に、お金があつて作ってしまえばいいやと言え、それはそれで済んでしまうかもしれないですけども、それは文化財保護審議会の委員さんたちも、すぐ作れるものではないですよ、ただ、ただ保存はきちんとやっていかなくてはならない中で、それは計画的に保存の仕方というのを考えなくてはならないですよ、ということまでは皆さん御理解いただいております。ただ、その計画がなかなか進んでいな

	<p>いところで、おそらく歯がゆさを感じて、こういった意見も出されてきているのではないかと、我々はそう考えております。なので、これに関して、特に国指定の上尾の摘田・畑作用具の活用・保存計画については、早急に手をつけなきゃいけないというところでやっけてはいますけれども、御意見を出されてる方からすれば、全然進んでないよねという所です。</p>
鈴木委員	<p>もちろん財政があるから、すぐにできるわけではない。それはわかりますけど、やはり将来そういうのが必要であるというような図ができない限り、先に進まないから、私はやはり将来の図は作るべきだなというふうに思います。</p>
教育総務部長	<p>その長期的な計画を作って、そこに行くまでの間に、うちは活用できるものは何を使ってここに保存していこうとかという、そういった流れの中の計画を作ろうということだと思います。</p>
鈴木委員	<p>だから、今は保管場所を、というのはいいいんだけど、将来的に上尾市として、そういう文化財を大切にするというためには、やはり最終的には博物館みたいなものが上尾も必要なんだろうとか、そういう未来の図ぐらいは書いておいた方がいいんじゃないかなと私は思うんですね。</p>
首藤議長	<p>この私達の委員会に対する怒りではなく、このコメントしてくださった市民の方を取り巻くいろんな状況があるのかなということにはよくわかりました。計画は文化財保護審議会が中心となって立てておく必要があるのかなと思います。</p> <p>学校の話が出ましたが、中学校は関わらないとは思いますが、校舎は使ってないですね。</p>
生涯学習課長	<p>現在は大石南小学校の校舎の2階の教室に保管しております。</p>
首藤議長	<p>そこにエアコンはついているんですか。</p>
生涯学習課長	<p>ついてないです。現在、いっぱいになってきてしまっているんで、大石南中学校の一部、3教室をお借りして、そこを整備して、一部をそちらに回す予定ではあります。そちらには換気扇なども整備する予定です。</p>
首藤議長	<p>エアコンぐらいは設置しておいた方がいいのかなとは思いますが。</p> <p>コメントについてはこういう対応をさせていただきたいと思います。学校関係で林委員さん、何か御意見はありますか。</p>
林委員	<p>特にはないです。</p>
首藤議長	<p>中学生は部活の地域展開が一番大きな課題ですけれども、前々から私は思っているのですが、文化団体とかスポーツ関係って上尾市でもたくさんありますから、そういう人たちが中学校の部活に関わって、社会教育活動として中学生が活動体験をすれば、面白い展開ができるのかなと思っているのですが、なかなかそういう状況にはならない。部活動地域展開と言いながら、</p>

	<p>まだ学校教育の中で展開しているのかなど。 この間、アリオ上尾に行ったら、上尾地域クラブとして小学生も活動している。中学校の部活の展開だけじゃなくて小学生からやっている。ダンスだったかな、そういう活動をしている。 須賀委員さん、何かありますか。</p>
須賀委員	<p>今のコメントではないんですけども、前年度の実施状況についてのところで、私はボーイスカウトの方から伺ってますので、団体の部分で、例えば 8 ページに載っている補助金の交付がありますよね。この書類はたまたまこうだったのかもしれないんですけども、どんな団体なのか、どんな活動してるのかというのを、ざっくりでもいいから少し載せてみると、例えば放課後子ども教室を開催するにあたって、例えばこの関連団体の人が何らかの連携で、こんなお手伝いができるとか、そういうふうな講師の派遣のような、そういう連携がとれるのかなど、どんな活動してるのかということがわかると、少し何かそういったところに役に立つのかなって感じがします。</p>
首藤議長	<p>おっしゃる通りで、社会教育委員会議はいろいろな団体の方が集まっていますよね。それぞれの団体でどういう活動をしているか、具体的に紹介すると。現実的にはそういう時間が取れないんですけども、中身が少しでもわかると。せっかく連携をさせていただいていますので。</p>
須賀委員	<p>せっかく補助金もいただいていますので、そういうふうなことに少しでもお力添えできればなという感じがします。</p>
首藤議長	<p>何年も前から、ボーイスカウトとガールスカウトの予算がちょうど半分ですね。</p>
須賀委員	<p>多分私がここに来る前からこうだったんじゃないかと思いますけども、やはり人数の違いだと思います。</p>
首藤議長	<p>あと、うちの大学の韓国の留学生からよく言われているのが、韓国の若者は軍隊に一旦入らなければいけない。そこでサバイバルの訓練を受ける。何か自然破壊とか起きて水がなくなるとか、電気がなくなるとか、そうなったときに韓国人は生き抜けると。ボーイスカウトも色んなサバイバルってやっていますよね。</p>
須賀委員	<p>そうですね、災害の時には真っ先に役に立つのは私どもじゃないかとよく言われています。</p>
首藤議長	<p>そうですね。ボーイスカウトの中だけじゃなくて、もっと広げてもらえるといいなと思っているんですよ。</p>
須賀委員	<p>ええ。だからそういった私どものノウハウを放課後子ども教室であり、公民館事業であり、そういったところに講師というかインストラクターとして御提供できるような場でもあればなど、常々思っていますけど、ただ実際、我々も普段は会社員なので、なかなか時間が取れないのが現状です。</p>

首藤議長	<p>放課後子ども教室などで、今後の活動に活かしていただけたらと思います。</p> <p>では今までで一通りの議題の審議が終わりました。他に御質問等ないので、以上で予定された議事は終了いたします。</p>
首藤議長	<p>(4) その他</p> <p>委員の皆様から何かその他、御発言がありましたらお願いいたします。</p>
各委員	<p>ありません。</p>
首藤議長	<p>よろしいでしょうか。御協力ありがとうございました。これで議長を降ろさせていただきます。</p>
	<p>4 閉会</p>
生涯学習課長	<p>首藤議長、ありがとうございました。</p> <p>本日御審議をいただきました第6次生涯学習振興基本計画ですが、この後、2月の教育委員会でコメントと合わせて協議をいただきました後、3月の教育委員会で決まるという形になっております。およそ一年の間、色々御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは閉会にあたりまして、御挨拶を近藤副議長、よろしく願いいたします。</p>
近藤副議長	<p><閉会挨拶></p> <p>以上をもちまして、令和7年度第4回社会教育委員会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(午後3時29分終了)</p>